

森田茂の新収蔵品を中心とした所蔵品展

しもだて美術館に新たに収蔵された洋画家森田茂先生の作品を中心にご紹介する展覧会。昨年3月2日に101歳でお亡くなりになりました名誉市民森田茂先生のご遺族から、筑西市の芸術文化振興のため油彩画18点、素描10点のご寄贈を受けました。森田先生からは、生前にも3回にわたり貴重な作品をご寄贈いただき、その数は今回と併せて86点を数えます。今展は、新たに所蔵となりました初期の小品から、故郷下館の夏祭りを描いた日展出品作「夜半の祭」など森田先生の最新収蔵品を中心に、板谷波山、浅香鉄心、大西勲、大久保婦久子等、しもだて美術館が所蔵する作品を市民の皆さまにご紹介いたします。



「夜半の祭」2006年 第38回日展

4/24_[土] ~ 7/4_[日]



入館料／一般200円・団体150円(10人以上)／高校生以下無料 ※板谷波山記念館との共通券は一般300円・団体250円。休館日／月曜(但し5月3日は開館し、6日(木)休館) 時間／午前10時から午後6時まで(入館は午後5時30分まで) ☎23-1601(アルテリオ3階)



小栗内外大神宮太々神楽は、勇壮な舞と融和的な舞とで構成され、神々の功績をたたえ、平穏な自然と作物の豊穰を祈り、悪を払い幸福を祈願する神楽です。

小栗内外大神宮 春の祭礼

4/18_[日] 太々神楽 奉納

(県指定無形民俗文化財)

太々神楽 神楽師募集

伝統と歴史のある太々神楽を守っていくために、新たに神楽師を募集します。興味のある人には太々神楽のDVDの貸出もします。(10日間無料)

4月18日(日)の春の例祭をぜひ、見に来てください。

○応募資格=市内又は近隣市町村在住の15歳から40歳位までの人。

踊りの経験不問、伝統芸能に興味のある人。舞方、囃子方、音響担当など(ボランティアの活動です。)

○練習日=祭礼、イベントの3か月前から練習(土曜日・神社にて)

○主なイベント=内外大神宮例祭(4月・11月)、樋口雷神社例祭(4月)、小栗判官まつり(12月)、県主催のイベントなどに出演

○連絡先=太々神楽保存会会長・小栗堆司 ☎57-2232

太々神楽DVDの連絡先 田谷税務会計事務所 ☎57-3421



▲2月28日に行われた『二宮金次郎』像の除幕式。下館シニアライオンズクラブ15周年の記念に寄贈、市役所本庁駐車場西側に設置されました。

「周りには箱根駅伝に出るような選手もいて、ワクワクしました」と全国大会出場の大島さん。数年後、箱根駅伝で大島さんの勇姿が見られることを期待しています。(◎)

行政・企業・NPOが連携し、自然観察や体験活動できる環境の整備が盛んに行われている。自然に触れ、技や知恵を身に付ける環境(学習の場)は非常に重要である。(悠)

「波山の夕べ」。ゲストが波山の魅力を語る。陶片を修復した藤山造司さん、映画で「割られる傑作」を作った斉藤勝美さん。波山に魅了された二人に魅了された夜でした。(ま)

編集後記